



Working Information Magazine

For Mentally disturbed person and
Developmental person with disabilities

働く精神障害者／発達障害者 当事者からの就労情報発信誌

こもれび KOMOREBI

2015年8月号 No.22



komorebi_no_kai@yahoo.co.jp 「雇もれび」で検索

[http://blogs.vahoo.co.jp/komorebi no kai](http://blogs.vahoo.co.jp/komorebi%20no%20kai)

目次 — Index —

1. テーマ — Theme —	
2. 日中活動系サービス事業所 MAP	3
3. 金曜たまりばカフェ	5
4. ナリワイワークショップサークル	6
5. 障害者枠の就活について（語る会/参加者から）	8
6. 「雇もれびの会」について	11
7. 雇もれびの会 平成27年度	12

テーマ — Theme —

働く障がい者を勇気づける

仕事探しをする病気仲間を勇気づけるため、また社会へのメッセージをこめて、当事者の生の声を集めてみようと思い立ち、2010年5月にフリーマガジンを発行しはじめてから、今回で第22号です。年4回ペースでマガジン発行、最初は白黒で100部スタートしました。—昨年度13号からはインターネットでも公開中です。（<http://komorebi-no-kai.jimdo.com/>）

いま、病気を持ち、クスリをのみながら働く精神障がい者は増えています。そんな働く人たちを支えていく仲間や仕組みも整いつつあります。

でも精神の病気があると、仕事探しを諦めてしまう人、雇用するのをためらう人が多いのも事実です。活動目的は働く精神障がい者を勇気づけ、また雇用する健常者側を後押しすること、こうした気持ちを込めて、情報発信を継続したいと思います。

表紙絵の紹介) 雇もれびの会の参加者の方の作品です。

日中活動系サービス事業所・施設入所支援 MAP

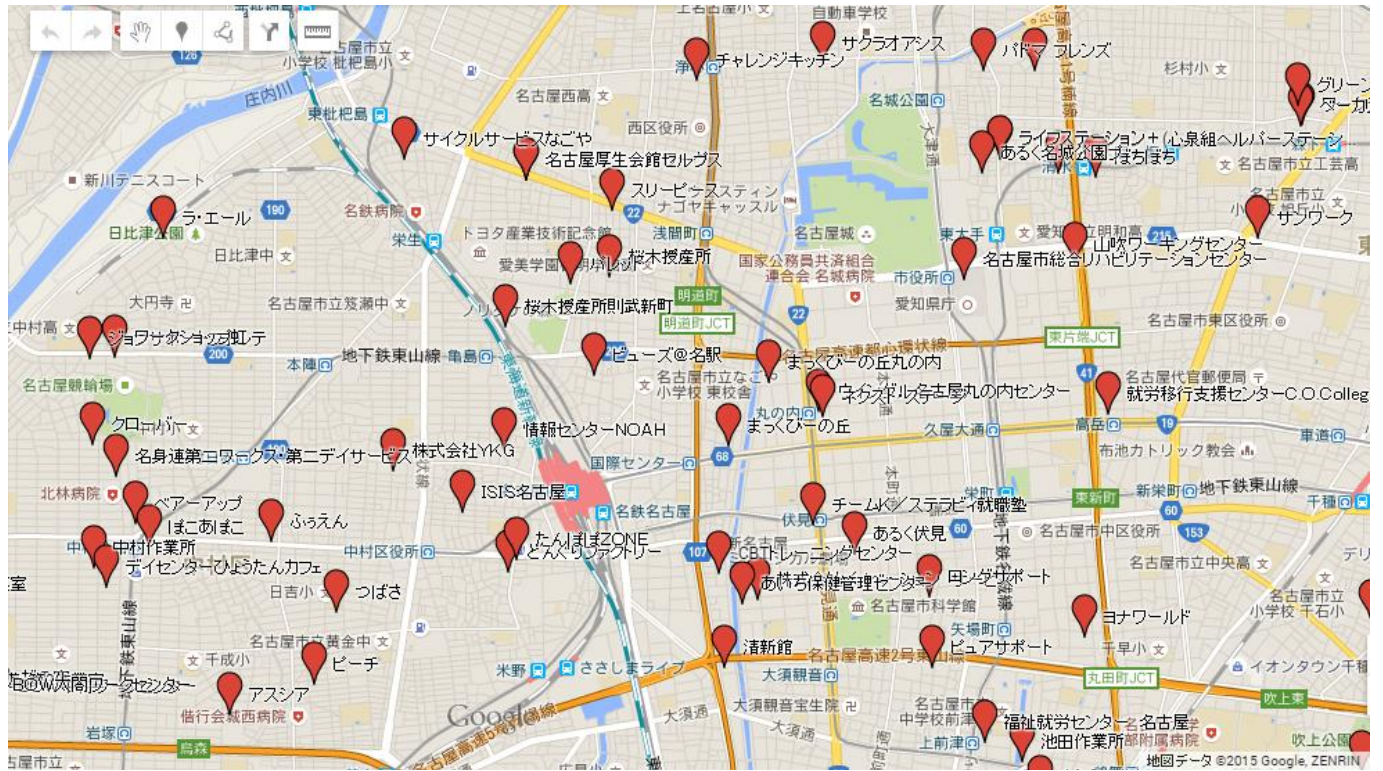
■日中活動系サービス事業所・施設入所支援の一覧を愛知県がまとめています。

<https://www.pref.aichi.jp/seishin-c/andante/syakai/shisetsuichiran110126.pdf>

全部で 300 を超える数の事業所があります。

今回、地図にまとめてみました。数が多すぎて、一部の地域しか掲載できていません。

名古屋駅付近



金山付近



地域活動支援センター

名称	住所	郵便番号	電話番号
親愛の里そよかぜ	名古屋市中村区中村町9-66	453-0053	052-419-3166
メンタルヘルスサポートセンター	名古屋市昭和区御器所通 2-25-2	466-0015	052-741-8900
やすらぎ	名古屋市守山区町北11-59	463-0074	052-791-2170
ハートランド森	名古屋市熱田区玉の井町9番30号	456-0027	052-681-7052
地域活動支援センターみみい	名古屋市南区西桜町48番地の7	457-0039	052-821-9792
高次脳機能障害者サポートセンター 笑い太鼓	名古屋市東区東大曾根24-4	461-0022	052-981-3033

精神障害者が利用する地域活動支援センターは名古屋市内では上記の6か所です。

上記、表は愛知県のホームページの情報を基に作成しました。

愛知県精神保健福祉センターのHPで

https://www.pref.aichi.jp/seishin-c/andante/a_05.html

「仲間との交流」「地域活動支援センター一覧」をクリックすると、
地域活動支援センター

<https://www.pref.aichi.jp/seishin-c/andante/pdf/chikatsu.pdf>

のリストが出てきます。

名古屋市のHPでは基幹相談支援センターについてこう書いてあります。

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000000661.html>

>障害者基幹相談支援センターは、名古屋市が委託した団体が運営しており、障害者（児）とその家族の方の地域における生活を支援するため、福祉サービスの利用や各種制度の活用に関することなど、様々な相談に応じる身近な相談窓口です。名古屋市の障害者基幹相談支援センターは24か所ですが、基幹相談支援センターを設置するかどうかは市町村の任意になります。

金曜たまりばカフェ

開催予定

毎週金曜日 午後1時30分から5時まで

名古屋駅西のサロンにて

<http://ameblo.jp/3soro758/>



精神障害者とは誰か？

身体障害者手帳を持っている人が身体障害者なら、精神障害手帳(精神障害者福祉手帳)を持っている人が精神障害者だと思われる人は多いと思います。

「私は精神科に通院しているけど精神障害者じゃない」と思われている人が大半だとも思います。

それは大きな誤解です。

精神保健福祉法の定義では、

第五条 この法律で「精神障害者」とは、統合失調症、精神作用物質による急性中毒又はその依存症、知的障害、精神病質その他の精神疾患を有する者をいう。

『その他の精神疾患を有する者をいう』

つまり精神疾患を有する者＝精神障害者と言う事になります。

それに先立つ第四条には、

「医療施設の設置者は、当該施設において医療を受ける精神障害者が、障害者総合支援法第5条第一項、第十六項の精神障害者の福祉に関する事業に係るサービスを円滑に利用できるように配慮する」旨の事が書いてあります。

つまり、精神障害者福祉手帳がなくても障害者福祉サービスを受ける事は可能なのです。

もちろん、そのサービスが必要なのかについて、障害の程度についての判定がありますが、作業所や地域活動支援センターに通う程度の事なら利用できるケースが多いようです。

窓口は区役所の福祉課ではなく、保健所の予防課です。

認定にあたっては医師の意見書も必要になります。

利用可能かどうか施設や事業所に聞いてみると、手続きを教えてくれるようです。

<http://www.kaigo-wel.city.nagoya.jp/view/wel/service/>

金曜たまりばカフェについてのお問い合わせは・・・

梅田浩志(うめだひろし)

Tel:070-5083-2247

Mail: umeda164@willcom.com

または雇もれびの会まで

Mail: komorebi_no_kai@yahoo.co.jp

ナリワイワークショップサークル

雇もれびの会と低空飛行が一年間コラボすることになりました。

※以下、名古屋で活動するメンタル系自助グループ低空飛行 net (元・フジヤマ会) の6月のブログからの転載です。

<http://lowflight.ldblogger.jp/archives/52126735.html>

ナリワイワークショップサークルとは、あいちモリコロ基金の助成を受けた雇もれびの会とのコラボレーション企画で、毎月当事者を講師としてナリワイとして成り立ちそうなワークショップを企画・開催していくサークル活動です。今月は料理を作ります。材料を用意する都合や講師が初めてで緊張もあるとの事で、誰でも参加可能ではなく、低空飛行 net 関連の参加者に限定してやってみたいそうです。講師をしてくれる方からワークショップの流れについて説明をいただきました。

=====
素材の甘味を感じられる、簡単！「重ね煮」料理

～砂糖を使わなくても、美味しい料理が簡単にできます！～

1：重ね煮料理の魅力について

使用する食材、調味料の効能、食材の陰陽という考え方の紹介

2：一緒に調理

ほとんど手をかけません！

野菜達が持っている美味しさを、消さないように、引き出すお手伝いをする感覚です

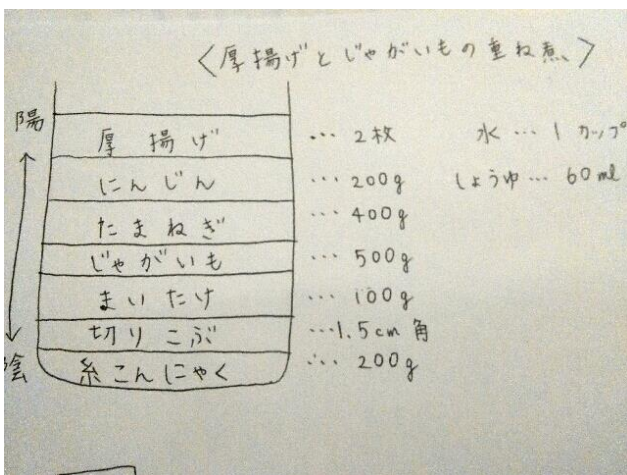
3：試食

皆で楽しく談笑しながら、優しい素材の美味しさを味わってほしいです

=====
前半、後半ともにこんな感じで進められていくようです。

前半だけ・後半だけの参加、両方とも最後まで参加など、

それぞれの都合に合わせてご参加ください。



障害者枠の就活について（語る会 参加者から）

障害者枠の面接対策で必要な自己の障害者説明についてはこんな内容で

『発症時期、原因、どのような症状が出るのか?発症の兆候は自分で分かるか?分かった場合どのように対処しているか?等々あとは薬について、どれくらい飲んでいくか?いつ飲んでいくか?』

これらの事を障害があってもこうやって対処してるいので就労に支障なくやってけますよって

説明出来るようになれば面接で次のステップへ進めるんじゃないでしょうか?

又、障害者枠就活で使う履歴書も一般のモノよりも

障害説明欄(障害の経緯、福祉サービスの利用歴、相談機関、支援機関、医療機関の記載が出来る様に新たに欄が付け加えられたモノ)を使った方が良いでしょう。

支援機関が無いと障害者枠は雇用され難い現実もありますので相談機関や就労移行支援事業所を上手に利用するのも方法かと思います。



「平成27年5月語る会」

議事録 平成27年5月の語る会

会の紹介

雇もれびの会といって発達障害、精神障害を持っている人で働きたい人、働いている人の自助会です。今日は2時間で、最初に自己紹介、近況、途中休憩を挟んで、就労支援や就労体験について語りあいます。最後に一言づつまとめを言っておわります。

ここで話すことは個人名を伏せてブログにアップします。インターネットに掲載することで、この場に来られない方へのメッセージを送ります。ブログに載せた一部はマガジンという紙の冊子にも載せます。ブログに載せてほしくないことは最初から伏せて話すようにお願いします。または、話すときに「オフレコで」と申し出てください。

自己紹介

B：一昨年秋からこの会に来ている。7年ほど前に初めて発達障害と診断を受けた。二次障害の鬱で精神の手帳3級を取った。その後、鬱は回復した。今は対人恐怖など社会不安障害（SAD）を抱えている。雇もれび以外にも自助会や勉強会にでている。コミュニケーションをちゃんと取れるようになりたい。仕事はメーカーの障害者枠。2年半ぐらい。もう少し仕事がしたいと思っている。今の仕事は子供レベルに思える。また、全く一人で孤立した職場環境も不満が出てきた。気を使ってもらっているのはわかるが、同じ境遇の人などと話せる職場や環境がほしい。

Z：三河地方からこの会のために名古屋へ来た。最近まで大学職員とし3年間で

CADで図面を引いていた。障害者の就労準備の為の相談に乗りたいと思っている。自身も薬を飲みながら働いている経験を生かしたい。

T：仕事を探してる。大学を卒業してから正社員とアルバイトを含めて20年ほど働いてきた。アスペルガーの診断を受けて手帳を持っている。服薬はしていない。

近況

T：こころの元気+という雑誌の社会保険労務士の記事がおもしろかった。障害年金の認定は「最後まであきらめないでください」というメッセージがあった。

社労士は代理申請ができる点で、同伴申請しかできない精神保険福祉士とは違う。

ただし、社労士は成功報酬の20%を支払う契約が多いので、高額な出費にもなる。一番は、医者ジャッジだが、県単位での地域差があることも事実のようだ。

B：アスペルガーなど発達障害には3種類あると言われている。

積極型、受動型、孤立型だ。積極型は、自分のことばかり話すタイプ。受動型は、

自分からは人間関係を築けないが、他人と関係を作りたいタイプ。孤立型は、一

人でいるのが、デフォルトで、周りの人はすべて風景にしか見えないタイプ。発

達障害は、この傾向が飛び抜けて強いこと

が特徴とされている。

自分は以前、自分のことばかり話している

と言われた。今は、コミュニケーションを

取るため、聴くようにしている。

Z：わたしは独立行政法人 高齢・障害・



求職者雇用支援機構の「障害者職業生活指導員」の免状を受けた。

<https://www.jeed.or.jp/disability/employer/employer04.html>

T：私も職業相談員をしていた。そのとき、障害者で一般就労とA，B型就労継続事業所に通う人の大きな違いは、「生活のリズム」だと気づいた。朝起きて外にでられるかどうか、が一番の分かれ目だ。

Z：障害者として就職活動すると、「統合失調症」へ理解や雇用実績のない企業が多いことに気づいた。統合失調症には、まず、「減薬」が必要なことが多い。医者のいいなりでは、薬漬けである。水を大量に飲んでトイレにばかり行くなどの副作用が深刻だ。自分は、副作用で脳が呼吸できていないような苦しい感覚があった。短期記憶が落ちるのも経験した。

Z：一番いやな副作用は太ることだ。

Z：わたしは48歳で就職が決まった。CADの技術があれば、年齢に関係なく就職できる可能性がある。おすすめしたい。

最後にひとこと

- ・社労士の専門的な知識を聴きたい。
- ・掃除でもっと稼ぎたい。
- ・もっと働きたい。
- ・結婚はあきらめたが、仕事であきらめることはない。ガラスの天井を破るようにしたい。もっと就労移行支援などを使って転職してステップアップしたい。
- ・現状の仕事がいいか、転職するかで揺れている。
- ・実践を伴う活動を聞いて良かった。いい場所だと思う。

「雇もれびの会」について

(参加当事者募集)

自助会のなかでも精神障がいに関する自助会は愛知にもいくつかあります。

雇もれびの会は、就労支援を重視している団体です。精神障がい自助会とは、小さくて、新しい団体です。雇もれびの会に来ている人の特徴は、働きたい人、働いている人がほとんどです。また、雇もれびの会の「働きたい」という趣旨に賛同してリピーターが多いのが特徴です。

一度限りの方もいますが、半年、1年経ってから、再参加する方もいます。

(ボランティア募集)

就労を目指す精神障がい者・発達障がい者の支援を行える方を募集しています。特別にカウンセラー的なことはしません。付き添いや傾聴のお手伝いをお願いします。

【交通手段】公共交通機関のみ

【最寄り駅】東山線「新栄町」または、桜通線「高岳」



雇もれびの会 平成27年度活動

- 1) 語る会（第二土曜日午後、2時～4時、名古屋東生涯学習センター）
- 2) ナリワイワークショップサークル（平日夕方、18～20時、名古屋駅西のサロン）
※低空飛行ネットとのコラボ企画です。
- 3) 金曜たまりばカフェ（金曜日午後、1時30分～5時、名古屋駅西のサロン）
※オレンジの会の梅田さんを囲む企画です。

上記活動のお問い合わせ、ご連絡は・・・

✉ komorebi_no_kai@yahoo.co.jp

【お知らせ】

雇もれびの会の活動に参加してみませんか？

当会では今年度も様々な活動を展開していきます。

これまで参加を迷ってこられた方も、新しく雇もれびの会を知られた方も、もう一度参加してみようという方も、歓迎いたします。

楽しいことは分かち合い、辛いことは共有しながら、働くことへの第一歩、新しい自分への第一歩を踏み出してみませんか？

雇もれびの会 平成27年度活動計画

- なりわいサークル**
平日18時～20時
※低空飛行とのコラボ企画
- 語る会**
毎月第2土曜日
14時～16時
名古屋東区
生涯学習センター
- gooddo**
ネット寄付サイトへの参加
- 金曜たまりばカフェ**
金曜日13時半～17時
※オレンジの会の梅田さんとの協働
- 名古屋休日コンシェルジュ(Qコン)**
引きこもり外出支援
当事者参加費：400円
(※補助によって100円で参加できます)
様々な場所で外出を楽しみます。

平成27年度活動

- 【モリコロ基金】
語る会・なりわいサークル
金曜たまりばカフェ
- 【あいちコープ基金】
名古屋休日コンシェルジュ企画
- 【恒友助け合い基金】
上記企画への参加費補助

一連絡先—
komorebi_no_kai@yahoo.co.jp
Yahoo ブログやっています。
「雇もれび」で検索願います。

この冊子は、モリコロ基金（公益信託 愛・地球博開催地域社会貢献活動基金）からの「精神障がい・発達障がいの当事者による就労情報発信事業」への助成を受けて作成しています。